

令和4年度 学校評価自己評価表(当初)

北広島町立芸北小学校

ミッション		○社会の中で自律して生きる力を有した子供を育てる											
ビジョン		○子供を主体(学習者基点)とし、あらゆる教育活動を通して児童に必要な資質・能力を育成する(カリキュラム・マネジメント)											
学校教育目標		～芸北を誇りに！今日の学びが明日をつくる～ 目標めざし ともに伸びる しなやかな子の育成											
【目指す児童の姿】		チャレンジし学ぶことを楽しむ子 思いを伝えあう子 芸北が好きなお子											
研究主題		児童・生徒自らが探究する生活科・総合的な学習の時間の創造 ～発達段階に応じた身に付けさせたい資質・能力の明確化(系統表の作成)とルーブリックによる評価を通して～											
目標		実践					評価基準 4・・・101%～ 3・・・80～100% 2・・・60～79% 1・・・60%未満				評価基準 A・・・適正 B・・・不適正 C・・・評価できない		
中期経営目標	短期経営目標	方 策	評価方法	目標値 (中間)	目標値 (年度末)	今回の 達成割合	目標に対する 割合	評価	成果と課題の分析	改善の方向性	学校運営協議会		
											評価	コメント	
健やかな体 体	①基礎的な体力の向上	・体力テスト(50m走、長座体前屈)及び長距離走などの個人記録を5月中に計測し、個人目標を設定させ、体育科の授業や業間運動などで計画的に練習にさせる。 ・2学期中盤から後半にも個人記録を計測し、新たな意欲付けを行う。	・個人記録が伸びた児童の割合 ・個人目標を達成した児童の割合 (中間は体力テスト) (年度末は長距離走)	80%	80%								
	②身の回りの危険予測・危険回避の能力の育成	・児童による安全行動の意識づけの取組(ヒヤリハットの共有) ・安全教育の計画的な実施と充実 ・朝暮会、行事前後における安全行動への注意喚起 ・「生活・総合」で、安心・安全に関する目標を立てて実行させる。	安全行動に関するアンケートの肯定的回答の割合(児童・職員)	90%	90%								
豊かな心 徳	児童一人一人が自分のよさが分かり、自信を持って言える自己肯定感の育成	・授業や日々の生活における、全教職員による児童のよさについて価値付けたり、友達同士でよさを見つける機会を設けたりする。	児童への自己評価アンケートにおける、自分のよさについて回答できる児童の割合	80%	90%								
確かな学力 知	学習意欲の向上と思考力・表現力の育成を図り、基礎・基本の定着と学力の向上を推進する。	・授業の最後に振り返りを書く場面を設定する。また、授業以外の生活場面でも、朝会の話聞いた後や学校行事の後等に振り返りを書かせる。 ・発達段階に応じて振り返りの視点(めざす姿)を定め、それをもとに振り返りの書き方を指導したり、評価したりする。	児童アンケートの結果を踏まえて「該当学年のめざす姿が達成できた」と担任が評価する児童の割合	60%	70%								
信頼される学校	児童に確かな力をつけるために自らの働き方を工夫し、児童と向き合う時間を充実させる教職員	・個人目標をたて、それを達成するための手だての明確化を図る。 ・お互いの目標を知り、チームとして助け合い目標達成を目指す。 ・実践を振り返り、業務の工夫と改善を続ける。	「時間外勤務45時間以内6月以上」を目指して決めた個人目標を達成した職員の割合	100%	100%								